

Arcserve® Unified Data Protection v6

クラウド ストレージへの ファイルコピー/アーカイブ 設定ガイド

2016 年 6 月

REV: 1.0

目次

1. はじめに	1
2. WINDOWS AGENT を利用したクラウドストレージへのファイルコピー	4
3. WINDOWS AGENT を利用したクラウドストレージへのファイルアーカイブ	9
4. WINDOWS AGENT を利用したクラウド ストレージからのリストア	13
5. UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイルコピー	16
6. UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイル アーカイブ	26
7. UDP コンソールを利用したクラウドストレージからのリストア	32
8. 製品情報と無償トレーニング情報	33

変更履歴：

2016 年 6 月作成

注意：この資料は 2016 年 5 月 16 日時点の製品をもとに記述しています

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本資料は情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。

Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みません（ただし、これに限定されません））も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。

Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

Copyright © 2016 Arcserve, LLC and / or one of its subsidiaries. All rights reserved.

1. はじめに

Arcserve® Unified Data Protection (以降 UDP と表記) は、非常に「簡単」かつ「手頃」なディスクベースのシステム保護ソリューションです。小規模環境から大規模環境まで、バックアップ要件に応じて必要十分は標準機能を多数搭載しデータ保護・災害対策・業務継続といった多様なニーズに対応できる製品です

本資料では、オンプレミス上に保管したイメージ バックアップデータから自動的にファイルを抽出し、クラウドストレージにファイル単位でコピー/アーカイブするための設定手順を説明します。

最新のクラウドストレージ対応環境は動作要件 [クラウド サービス (ファイル コピー)] を参照してください。

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/204760116#21>

本資料では、Amazon S3 と Microsoft Azure のクラウドストレージをコピー/アーカイブ先として利用するための設定例を説明します。

1.1. コピーとアーカイブの違いについて

コピー処理では多重化したいファイルをクラウドストレージにコピーするので、災害発生時にはダウンロードしてすぐにファイルを利用することができます。アーカイブ処理ではクラウドストレージにファイルを移動するのでオンプレミス サーバのストレージ空き容量を増やすことができます。アーカイブでは移動されたソース ファイルをアーカイブ先の情報が記載されたテキストファイル (スタブファイル) に置き換えます。

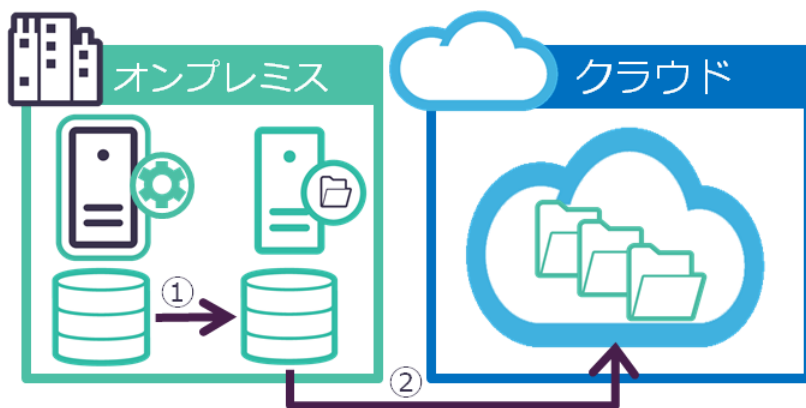
スタブファイルの記載例

```
これは、Arcserve UDP によって作成されたスタブ ファイルです (ファイル アーカイブ)。
-----
このファイルのリストアについて IT 担当者にお問い合わせください。
-----
ファイル [c:\Data¥FileCopy-test1.txt] は 2016年5月21日 20:03:22 上の以下のファイル アーカイブ デスティネーションに移動されました。
クラウド デスティネーション URL: s3.amazonaws.com
クラウド コンテナ: arcserve-udpv6-2dagent-2darchive2cloud1
-----
```

1.2. 本資料で説明するコピー/アーカイブ手順の種類

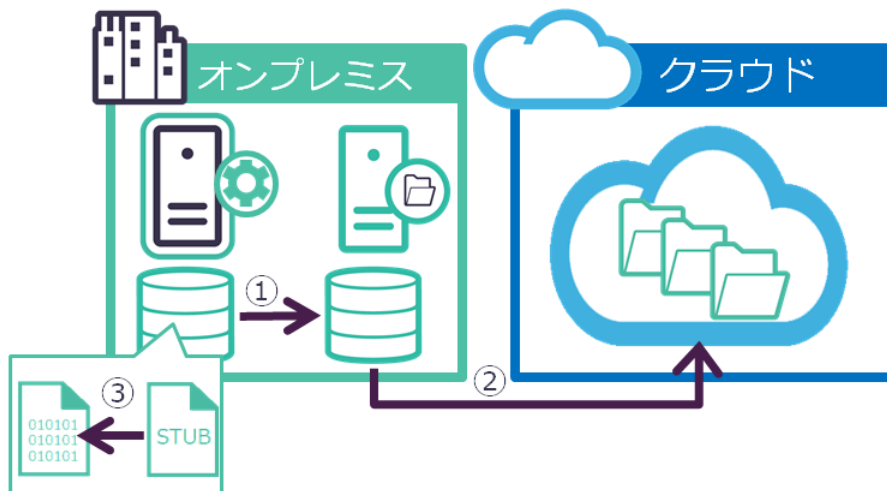
ファイルコピー/アーカイブはUDP Windows Agentだけがインストールされたサーバでも、コンソールや復旧ポイントサーバで統合管理されている環境のどちらでも設定することができます。本書では以下の4種類の設定手順を説明します

(1) Windows Agent を利用したクラウドストレージへのファイルコピー



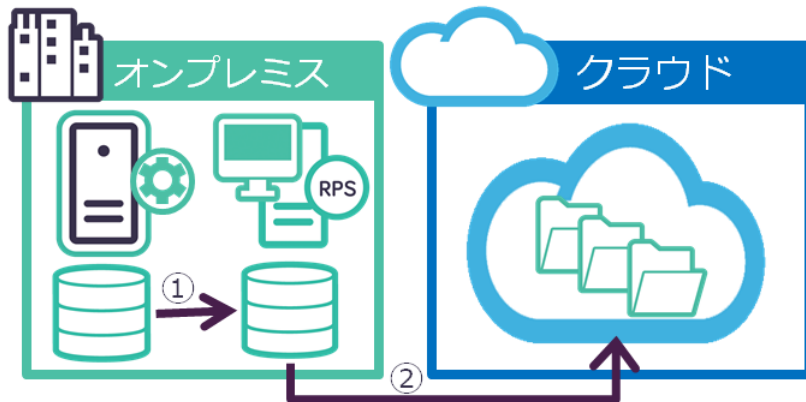
- ① バックアップ対象サーバをNASにバックアップ
- ② バックアップイメージからファイルを抽出し、クラウドストレージへコピー

(2) Windows Agent を利用したクラウドストレージへのファイルアーカイブ



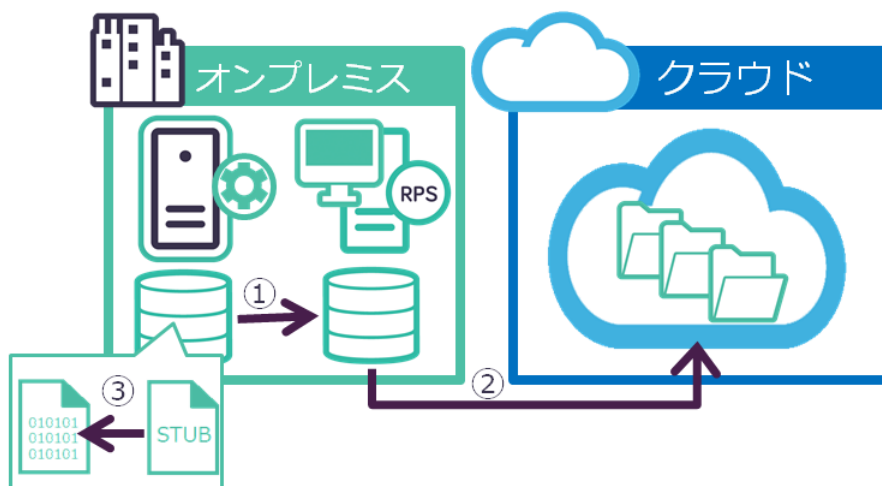
- ① バックアップ対象サーバをNASにバックアップ
- ② バックアップイメージからファイルを抽出し、クラウドストレージへコピー
- ③ ソースファイルをアーカイブ先の情報が記載されたテキストファイル（スタブファイル）に置き換え

(3) UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイルコピー



- ① バックアップ対象サーバを復旧ポイントサーバにバックアップ
- ② バックアップイメージからファイルを抽出し、クラウドストレージへコピー

(4) UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイルアーカイブ



- ① バックアップ対象サーバを復旧ポイントサーバにバックアップ
- ② バックアップイメージからファイルを抽出し、クラウドストレージへコピー
- ③ ソースファイルをアーカイブ先の情報が記載されたテキストファイル（スタブファイル）に置き換え

2. Windows Agent を利用したクラウドストレージへのファイルコピー

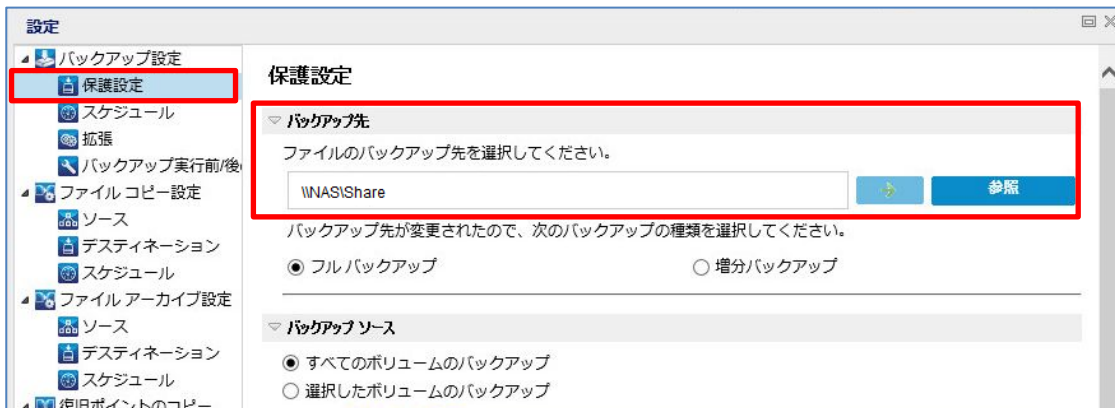
ファイルコピー/アーカイブ機能はバックアップデータからファイルを抽出します。本資料では新規にバックアップを取得しクラウドストレージに ファイルコピーする方法を説明します。すでにバックアップ取得済の場合は、2.2. [ファイルコピー設定] - [ソース] 設定手順から読み進めてください。

2.1. [設定] - [バックアップ設定]

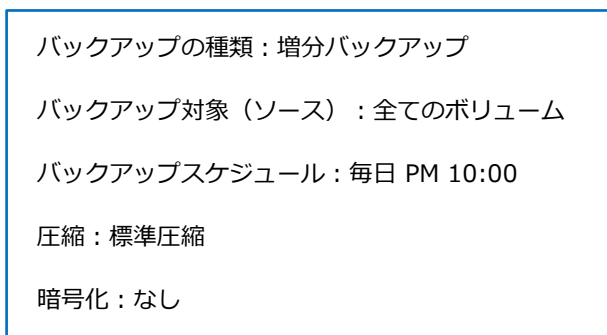
- ① タスクメニューより [設定] をクリックします。



- ② [保護設定] - [バックアップ先] で、オンプレミス上でのバックアップデータの保存先を指定します。本資料では [¥¥NAS¥Share] 共有フォルダをバックアップ先として指定します。

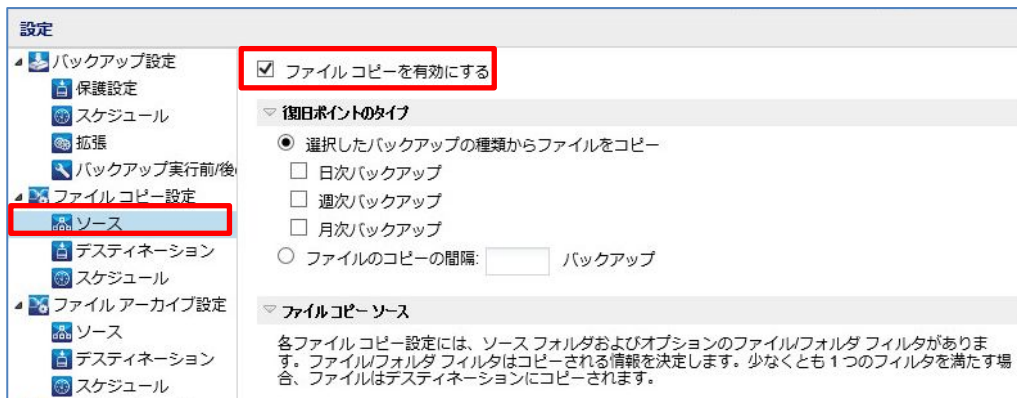


バックアップ先以外のデフォルト設定は以下となります。必要に応じこれらの設定を修正します。

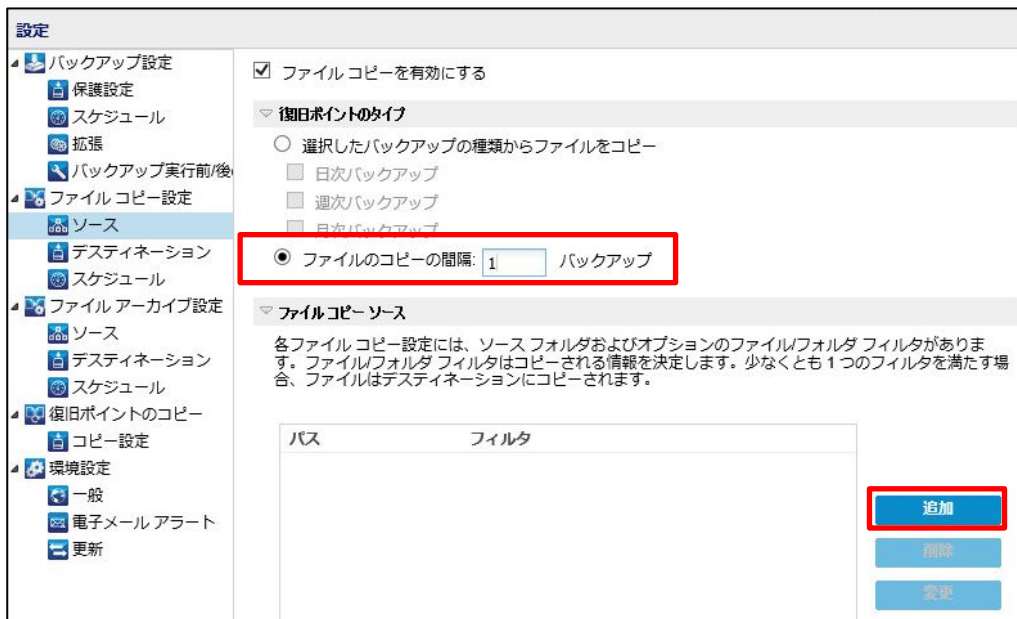


2.2. [ファイルコピー設定] - [ソース] 設定

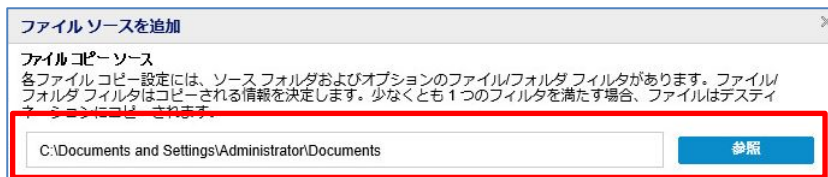
- ① ファイルコピーを有効化します。[ファイルコピー設定] - [ソース] を選択し、[ファイルコピーを有効にする] をクリックします。



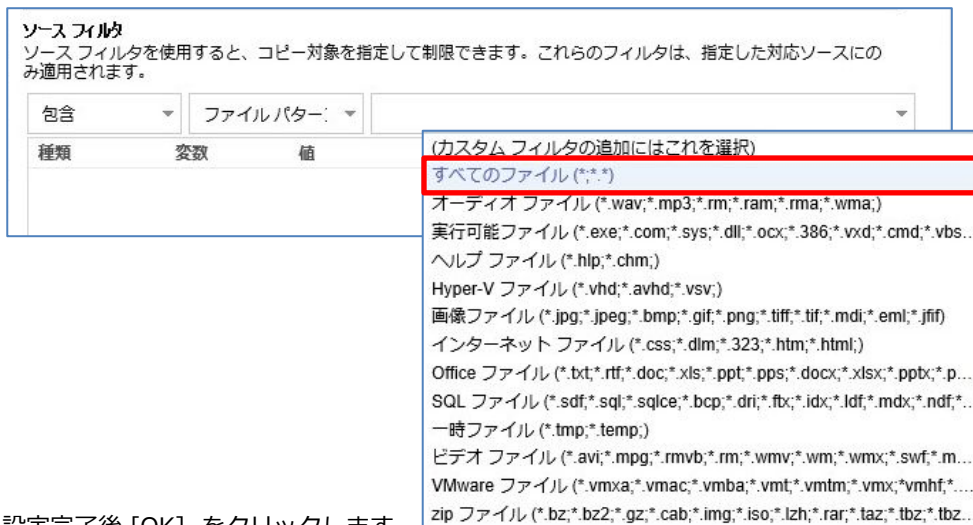
- ② [復旧ポイントのタイプ] を設定します。本資料ではバックアップ後に毎回ファイルコピーを行うよう [ファイルコピーの間隔] に「1」を指定します。次に[追加] をクリックしコピー対象ファイルの抽出設定を行います。
※ この設定で「3」を指定した場合、3回バックアップが実行された後ファイルコピーが実行されます。



- ③ [ファイルコピーソース] に抽出対象のフォルダを指定します。



- ④ [ソース フィルタ] にコピー対象のフィルタ設定を指定すると、フィルタ条件に合致したファイルが指定フォルダからコピーされます。本資料では [ファイルコピー ソース] 内のすべてのファイルを抽出対象として指定します。特定の文字列を含むファイル名や拡張子で抽出することもできます。2回目以降のバックアップでコピー対象ファイルに更新があった場合は、ブロックレベルの増分データだけがクラウドストレージにコピーされます。

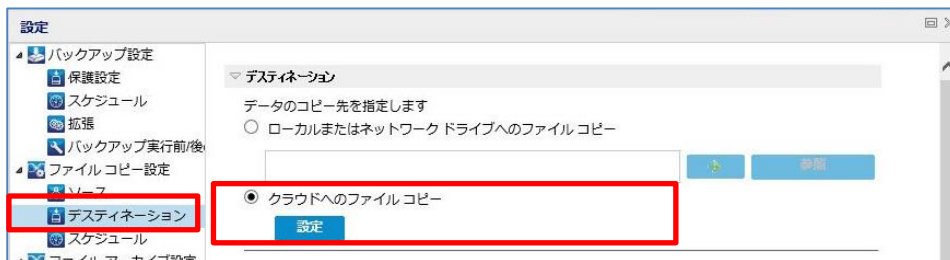


- ⑤ 設定完了後 [OK] をクリックします。



2.3. [ファイルコピー設定] - [デスティネーション] 設定

- ① コピー先クラウドストレージの接続設定を指定します。[ファイルコピー設定] - [デスティネーション] を選択し、[クラウドへのファイルコピー] 選択後、[設定] ボタンをクリックします。



- ② “Amazon S3”に接続するための [アクセスキーID] と [アクセスキー] を入力します。 [ストレージサービス] として [Amazon S3] を選択すると“S3.amazonaws.com” に接続します。

※ [Azure ストレージ] を利用する場合は次ページの <Azureストレージへの接続設定例> を参照します。

[接続テスト] をクリックすると既存のバケットが読み取られ、 [バケット名] のドロップダウンリストに表示されます。保存先に指定するバケットをリストから選択するか、 [追加] ボタンをクリックして新規に作成するバケット名を入力します

<Azure ストレージへの接続設定例>

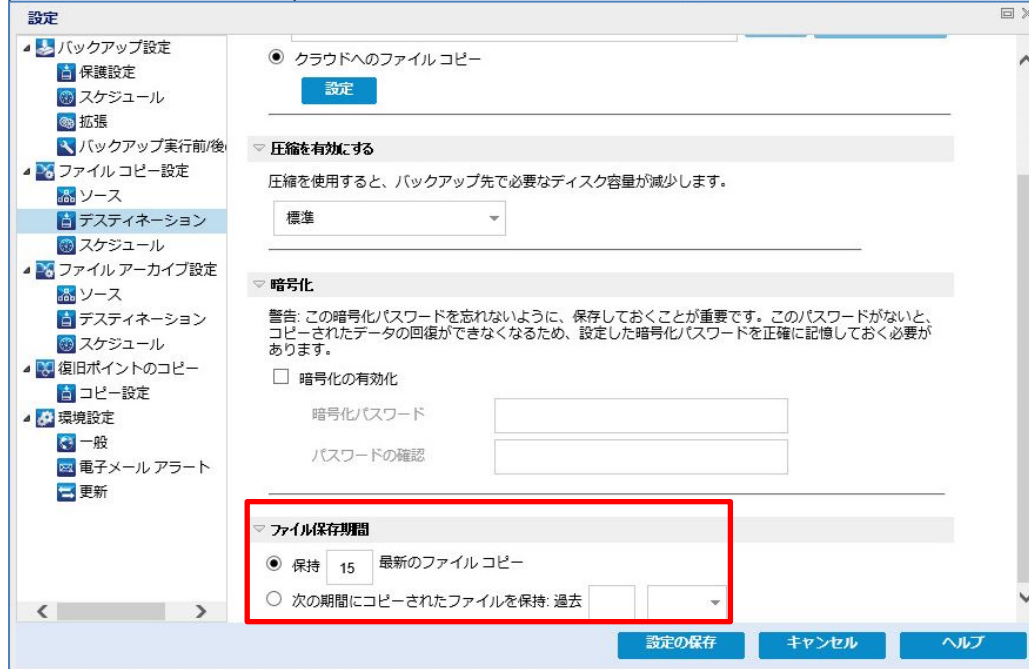
Azureストレージへ接続設定では [ストレージサービス] として[Windows Azure]を選択し、 Azure ストレージの [アカウント名] と [シークレットキー] を入力します。

※ 下図の設定例では“ <http://ARCSERVEUDPV6.blob.core.windows.net>”に接続します。

[接続テスト] をクリックすると、既存のバケットが読み取られ [バケット名] のドロップダウンリストに表示されます。保存先に指定するコンテナをリストから選択するか、 [追加] ボタンをクリックして新規に作成するコンテナ名を入力します

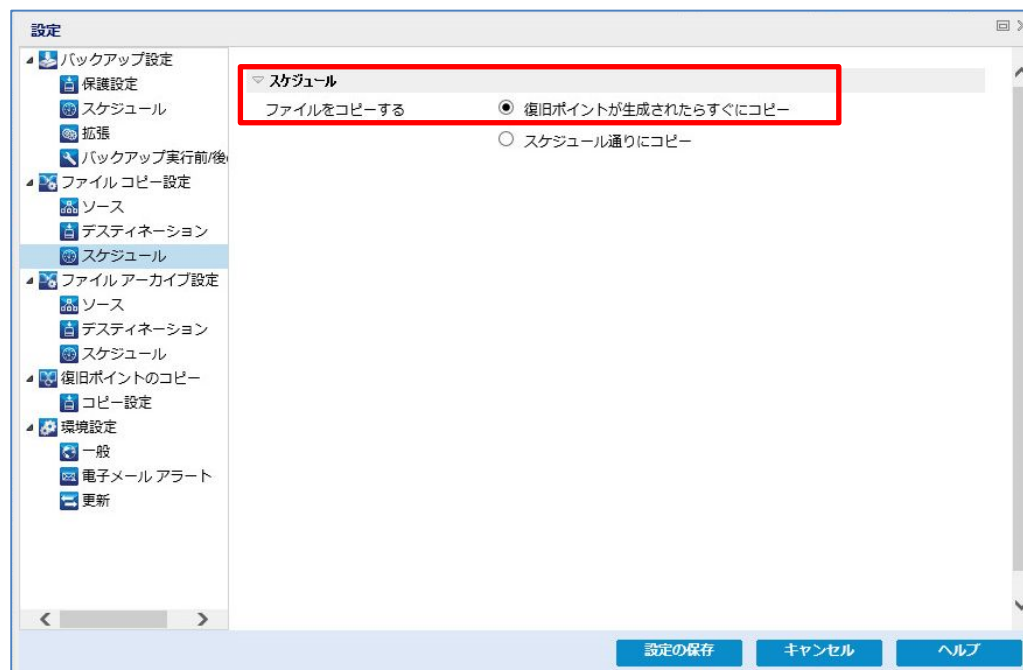
- ③ 本資料では、その他の [デスティネーション] 設定はデフォルトのまま進めます。

[ファイル保存期間 - 保持] はデフォルトで「15」に設定され、対象ファイルを過去15世代まで保持します。



2.4. [ファイルコピー設定 - スケジュール]

デフォルトでは [復旧ポイントが生成されたらすぐにコピー] が選択され、バックアップ完了後すぐにファイルコピーが実行されます。ファイルコピーを実行する時刻や曜日を指定するには [スケジュール通りにコピー] を選択します。最後に [設定の保存] をクリックしバックアップ運用を開始します。

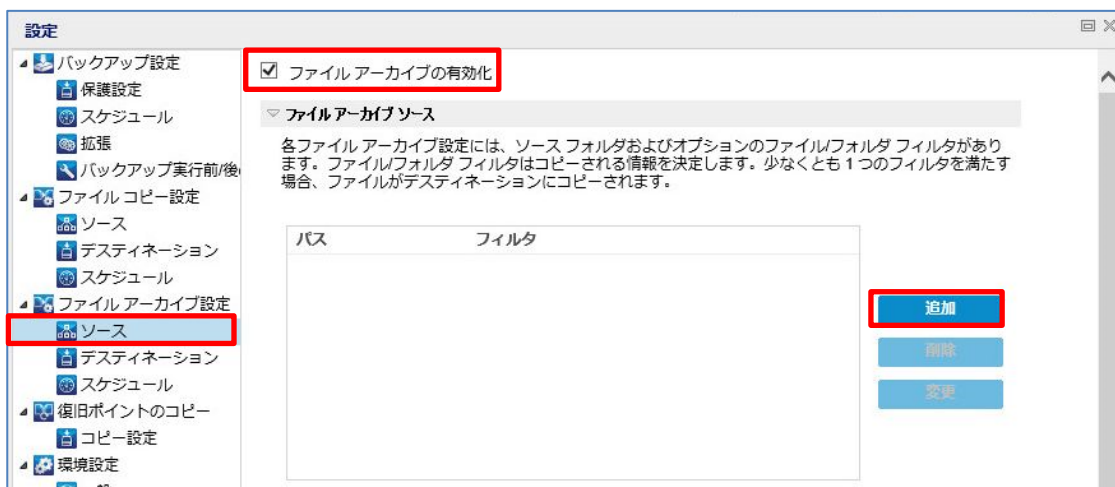


3. Windows Agent を利用したクラウドストレージへのファイルアーカイブ

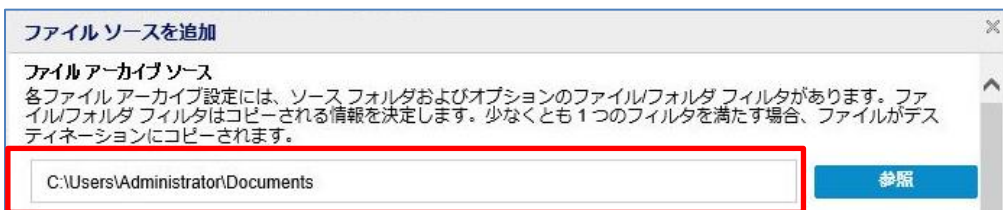
本書では [バックアップ設定] は設定済の前提でアーカイブの設定手順を説明します。

3.1. [ファイルアーカイブ設定] - [ソース] 設定

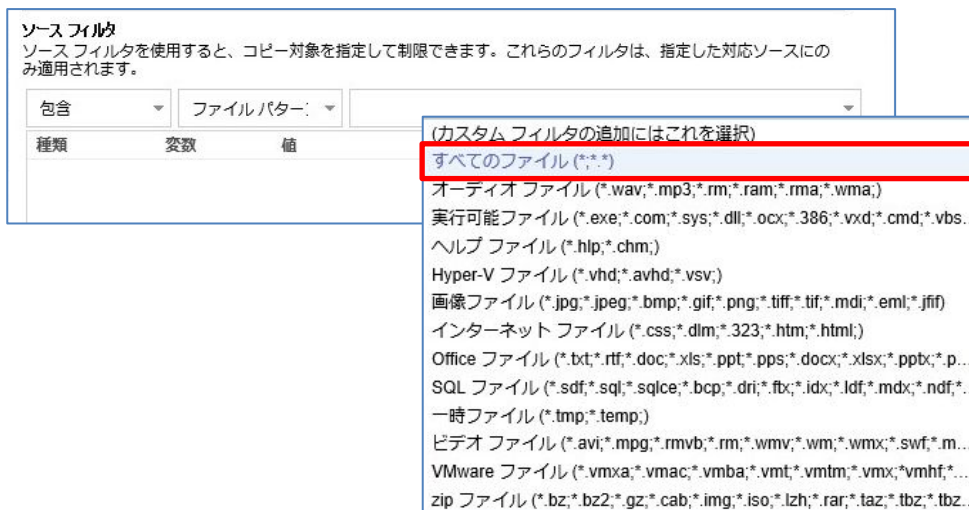
- ① 画面左の設定メニューから [ファイルアーカイブ設定] - [ソース] を選択し [ファイルアーカイブの有効化] をクリックします。次にアーカイブ（移動）ファイルの抽出対象フォルダを指定する為 [追加] をクリックします。



- ② [ファイル アーカイブ ソース] 欄に抽出対象フォルダをフルパスで入力します。



- ③ [ソース フィルタ] にアーカイブ対象のフィルタ設定を指定します。本資料では [ファイル アーカイブ ソース] 内の全ファイルを抽出対象として指定します。フィルタ条件に合致したファイルは指定フォルダからアーカイブされ、ソースファイルがスタブファイルに置き換えられます。



- ④ 設定完了後 [OK] をクリックします。本資料では [ファイル サイズ フィルタ] や [ファイル経過期間フィルタ] は設定していません。抽出対象ファイルをサイズや経過期間でフィルタする場合は必要に応じ指定します。

ファイルソースを追加

ファイルアーカイブソース
各ファイルアーカイブ設定には、ソースフォルダおよびオプションのファイルフォルダフィルタがあります。ファイルフォルダフィルタはコピーされる情報を決定します。少なくとも1つのフィルタを満たす場合、ファイルがデスティネーションにコピーされます。

C:\Users\Administrator\Documents 参照

ソースフィルタ
ソースフィルタを使用すると、コピー対象を指定して制限できます。これらのフィルタは、指定した対応ソースにのみ適用されます。

包含 追加 削除

種類	変数	値
包含	ファイルパターン	すべてのファイル (*.*)

ファイルフォルダパターンにはワイルドカード文字 "*" および "?" を使用できます

ファイルサイズフィルタ
ファイルサイズフィルタを使用すると、ファイルのサイズに基づいてコピーするソースデータを指定および制限できます。

ファイルサイズによるフィルタ

MB

ファイル経過期間フィルタ
ファイル経過期間フィルタを使用すると、ファイルの経過期間に基づいてコピーされるソースデータを指定および制限できます。

OK キャンセル ヘルプ

3.2. [ファイルアーカイブ設定] - [デスティネーション] 設定

- ① アーカイブ先のクラウドストレージへの接続設定を指定します。[ファイルアーカイブ設定] - [デスティネーション] を選択し [クラウドへのファイルコピー] を選択した後、[設定] ボタンをクリックします。

設定

- バックアップ設定
 - 保護設定
 - スケジュール
 - 拡張
 - バックアップ実行前後
- ファイルコピー設定
 - ソース
 - デスティネーション
 - スケジュール
- ファイルアーカイブ設定
 - ソース
 - デスティネーション**
 - スケジュール

デスティネーション

データのコピー先を指定します

ローカルまたはネットワークドライブへのファイルコピー

クラウドへのファイルコピー

設定

圧縮を有効にする

圧縮を使用すると、バックアップ先で必要なディスク容量が減少します。

- ② “Amazon S3”に接続するための [アクセスキーID] と [アクセスキー] を入力します。 [Amazon S3] を選択すると “S3.amazonaws.com” に接続します。

※ [Azure ストレージ] を利用する場合は次ページの <Azureストレージへの接続設定例> を参照します。

[接続テスト] をクリックすると既存のバケットが読み取られ、 [バケット名] のドロップダウンリストに表示されます。保存先に指定するバケットをリストから選択するか、 [追加] ボタンをクリックして新規に作成するバケット名を入力します

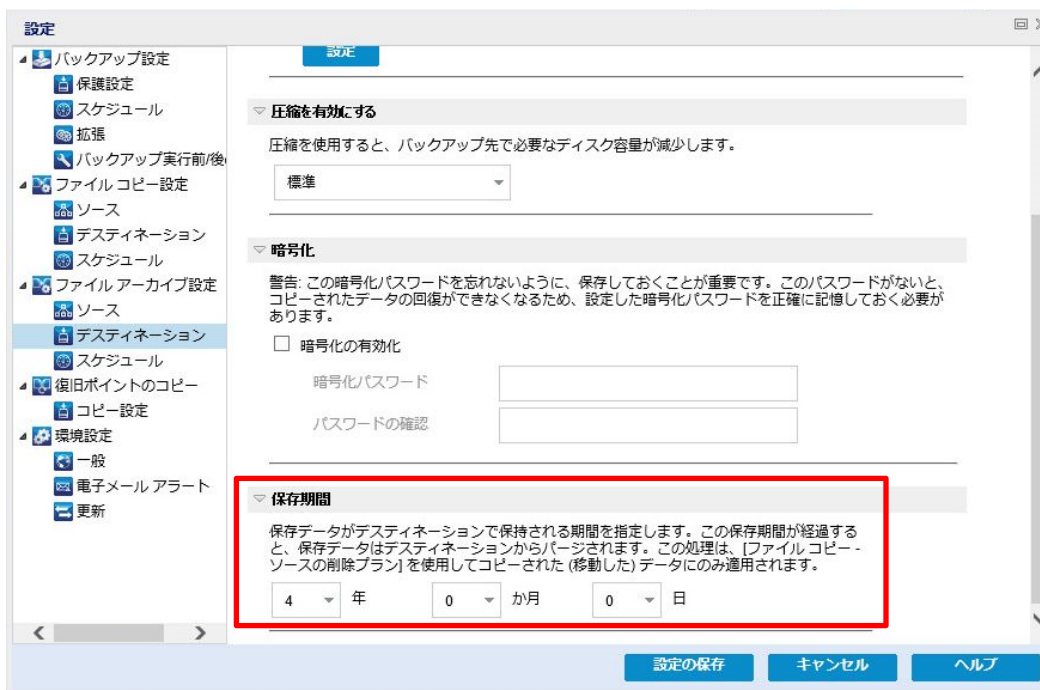
<参考 : Azure ストレージへの接続設定例>

Azureストレージへ接続設定では [ストレージサービス] として [Windows Azure] を選択し、 Azure ストレージの [アカウント名] と [シークレットキー] を入力します。

※ 下図の設定例では “http://ARCSERVEUDP6.blob.core.windows.net” に接続します。

[接続テスト] をクリックすると、既存のバケットが読み取られ [バケット名] のドロップダウンリストに表示されます。保存先に指定するコンテナをリストから選択するか、 [追加] ボタンをクリックして新規に作成するコンテナ名を入力します

- ③ 本資料では [保存期間] はデフォルトのまま設定します。この設定ではアーカイブされたファイルは4年間クラウドストレージに保持されます。



3.3. [ファイル アーカイブ設定 - スケジュール]

- ① ファイル アーカイブを実行するスケジュールを指定します。ここで指定した時刻と繰り返し間隔に従って [ファイル アーカイブ] が実行されます。[スケジュール] 指定の完了後、[設定の保存]をクリックし運用を開始します。



4. Windows Agent を利用したクラウド ストレージからのリストア

4.1. [設定] - [リストア]

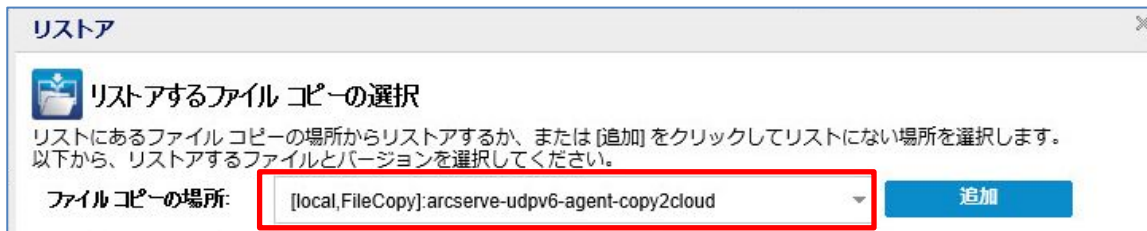
- ① タスクメニューより [リストア] をクリックします。



- ② リストア方式として [ファイルコピーの参照] を選択します。



- ③ 保存先のバケットが複数ある場合はリストア対象のバケット（またはコンテナ）をドロップダウンリストから選択します。1つしかない場合は自動的にバケットに接続されます。



- ④ ツリーを展開しリストア対象のファイルを選択します。選択後 [次へ] をクリックします。変更世代を持つファイルはツリー内に世代数が表示され、選択すると右ペインにリストア可能な過去世代がリスト表示されます。



- ⑤ 必要に応じ [リストア オプション] を指定します。ここではデフォルト設定のまま [次へ] をクリックします。

リストア

リストア オプション

デスティネーション
リストア先を選択します。

元の場所にリストアする

別の場所にリストアする

競合の解決
競合の解決方法の指定

既存ファイルを上書きする
 アクティブ ファイルを置換する
 ファイル名を変更する
 既存ファイルをスキップする

ディレクトリ構造
リストア中にルート ディレクトリを作成するかどうかを指定します。

ルートディレクトリを作成する

前に戻る **次へ** キャンセル ヘルプ

- ⑥ [リストア サマリ] の内容を確認し [完了] をクリックします。

リストア

リストア サマリ

設定が正しいことを確認した後、[完了] をクリックしてリストア プロセスを開始します。

リストアするファイル

名前	パス	サイズ
test3.txt	C:\Users\Administrator\Documents	23 バイト

デスティネーション
元の場所にリストアする

競合の解決
既存ファイルを上書きする: (はい)

アクティブ ファイルを置換する: (はい)

ディレクトリ構造
ルート ディレクトリを作成する: (はい)

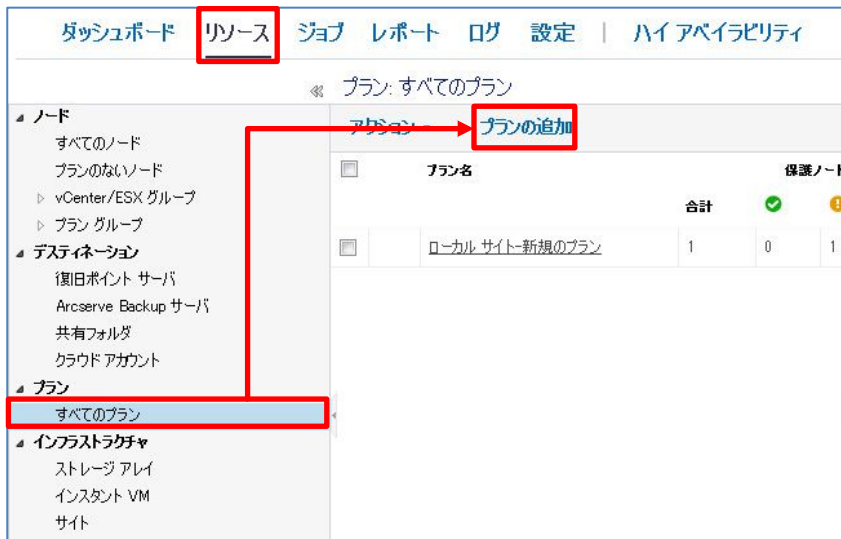
前に戻る **完了** キャンセル ヘルプ

5. UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイルコピー

コンソールでファイルコピー/アーカイブ機能を利用するには、バックアップタスクを含む[プラン]に [ファイル コピー] タスクを追加します。すでにバックアップ取得済の場合は、「5.2 [ファイル コピー] タスクの追加」から読み進めてください。

5.1. 新規プランの作成と [バックアップ タスク] の追加

- ① [リソース] - [すべてのプラン] - [プランの追加]と順にクリックし、新規プランの作成を開始します。



- ② [プラン名] と [タスクの種類] を指定します。本資料では任意の [プラン名] として「ファイルコピー」と入力し、[タスクの種類] として [バックアップ:エージェントベース Windows] を選択します。



- ③ [ノードの追加] をクリックし、バックアップ対象ノードを追加します

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイアベイラビリティ

プランの追加 このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: エージェントベース Windows

タスクの種類

ソース デスティネーション スケジュール 拡張

Arcserve UDP で保護するノードの選択
Windows ノードの追加
Active Directory からのノードのディスカバリ

- ④ ノードが追加されたことを確認します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイアベイラビリティ

プランの追加 このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: エージェントベース Windows

タスクの種類

ソース デスティネーション スケジュール 拡張

<input type="checkbox"/>	ノード名	VM名	プラン
<input type="checkbox"/>	udpv6-agent		

保護タイプ すべてのボリュームのバックアップ 選択したボリュームのバックアップ

- ⑤ バックアップ先を指定するため [デスティネーション] をクリックします。本資料では例として復旧ポイントサーバ [RPS] のデータストア [DataStoreM] をバックアップ先に指定します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイアベイラビリティ

プランの追加 このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: エージェントベース Windows

タスクの種類

ソース **デスティネーション** スケジュール 拡張

デスティネーションの種類 ローカル ディスクまたは共有フォルダ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ

復旧ポイントサーバ

データストア

パスワードによる保護

セッションパスワード

セッションパスワードの確認

- ⑥ [スケジュール] をクリックしバックアップ スケジュールを設定します。本資料ではデフォルトの毎日22:00に増分バックアップするスケジュールを使用します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイアベイラビリティ

プランの追加 このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: エージェントベース Windows

タスクの種類

ソース デスティネーション **スケジュール** 拡張

復旧ポイントの保存方法

<input type="checkbox"/>	タイプ	説明	日	月	火	水	木	金	土	時刻
<input type="checkbox"/>	📅	日次増分バックアップ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	22:00

スケジュールされたバックアップの開始時刻 :

復旧ポイントの保存

日次バックアップ

週次バックアップ

月次バックアップ

5.2. [ファイル コピー] タスクの追加

- ① 作成済のバックアップ用[タスク1]に [ファイル コピー]タスクを追加するため [タスクの追加] をクリックします。

プランの追加

ファイルコピー このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: エージェントベース Windows

タスクの種類: バックアップ: エージェントベース Windows

タスクの追加

製品のインストール

復旧ポイントの保存方法: 復旧ポイントによる保持

- ② [タスクの種類] で [ファイル コピー] を選択します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイアベイラビリティ

プランの追加

ファイルコピー このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: エージェントベース Windows

タスクの種類

- レプリケート
- 仮想スタックバイ
- ファイルコピー
- ファイル アーカイブ
- 復旧ポイントのコピー
- リモート管理の RPS ヘルプレイアウト
- テープへのコピー

タスク2

タスクの追加

製品のインストール

- ③ [復旧ポイントのタイプ] で ファイルコピーを実行するスケジュールを指定するか、コピーの実行間隔を指定します。ここでは例として [バックアップ]毎にファイルコピーを実行するため [ファイルのコピー間隔] を「1」に設定します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイアベイラビリティ

プランの追加

ファイルコピー このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: エージェントベース Windows

タスクの種類: ファイルコピー

タスク2: ファイル コピー

タスクの追加

製品のインストール

ソース デスティネーション スケジュール

ファイルコピー用の復旧ポイント ソース: タスク1: バックアップ: エージェントベース Windows

復旧ポイントのタイプ

選択したバックアップの種類からファイルをコピー

ファイルのコピーの間隔: 1 | バックアップ

ソースパスの追加 削除

ソースフォルダ ルール

- ④ コピーするファイルの抽出対象フォルダを指定するため [ソースパスの追加] をクリックします。

- ⑤ [ソース フォルダ] 欄に抽出対象フォルダのフルパスを入力し、[フィルタの追加] をクリックしてファイルの抽出ルールを指定します。本資料では例として抽出対象の [ソース フォルダ] に「C:¥Data」を入力し、フィルタ設定で「C:¥Data」以下の全データを対象にする[すべて(*.*)] を指定します。設定完了後 [OK] をクリックします。

- ⑥ 抽出対象フォルダとルール(抽出条件)が画面上で追加されたことを確認します。

The screenshot shows the 'Add Plan' configuration screen in the Arcserve Unified Data Protection interface. The 'Source' tab is selected, and a folder rule for 'c:\Data' is highlighted with a red box. The rule is set to 'すべて (ファイルの種類 :次と等しいすべて)'. The 'Destination' and 'Schedule' tabs are also visible.

- ⑦ [デスティネーション] をクリックし、[デスティネーションの種類] と [ストレージ サービス] を指定します。この例では [デスティネーションの種類] として[クラウド ストレージ] を選択し、[ストレージ サービス] として [Amazon S3] を選択しています。次に[クラウド ストレージ] への接続アカウントを入力するため [追加] をクリックします。

The screenshot shows the 'Add Plan' configuration screen in the Arcserve Unified Data Protection interface. The 'Destination' tab is selected, and the 'Destination Type' and 'Storage Service' fields are highlighted with a red box. The 'Destination Type' is set to 'クラウドストレージ' and the 'Storage Service' is set to 'Amazon S3'. The 'Add' button is also highlighted with a red box.

- ⑧ [ストレージ名] として任意の名称を入力し (この例では“aws-file-copy”)、接続に必要な情報 ([バケットの地域]、[アクセス キー ID]、[シークレット アクセス キー]) を入力します。[バケット名] 欄にクラウド既存の“バケット”名が表示され [バケット名] が存在しない場合、入力した名称でバケットを新規作成します。[ストレージ サービス] として[Amazon S3] が選択されている場合“S3.amazonaws.com” に接続します。設定完了後 [OK] をクリックします。

The screenshot shows the 'Cloud Account Addition' dialog box with the following fields and values:

- サイト: ローカル サイト
- ストレージ名: aws-file-copy
- ストレージ サービス: Amazon S3
- バケットの地域: AP_Tokyo
- アクセス キー ID: ARCSERVEUDP6
- シークレット アクセス キー: [Redacted]
- プロキシ サーバを使用して接続する:
- バケット名: copy2cloud1
- Amazon S3 ストレージ: 低冗長化ストレージを有効にする

The 'OK' button is highlighted with a red box.

<参考 : Azure ストレージへの接続設定例>

Azureストレージに接続する際の設定例です。任意の [ストレージ名]を入力後、接続に必要な [アカウント名] と [シークレットキー] を入力し接続します。既存コンテナが存在する場合は、[コンテナ] に読み込まれ、入力した [コンテナ] が存在しない場合は新規に作成します。

The screenshot shows the 'Cloud Account Addition' dialog box with the following fields and values:

- サイト: ローカル サイト
- ストレージ名: UDPv6 File Copy
- ストレージ サービス: 富士通クラウド(Windows Azure)
- ストレージ エンドポイント: https://blob.core.windows.net
- アカウント名: arcserveudp6
- シークレット キー: [Redacted]
- プロキシ サーバを使用して接続する:
- コンテナ: udpconsole-copy1

The 'OK' button is highlighted with a red box.

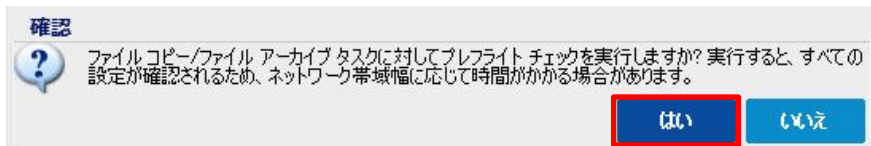
- ⑨ ファイルコピーの保持世代数、または保存期間を指定します。デフォルトでは最新の15世代がクラウドに保持される設定となります。本資料では例として保存期間を指定し、7日以内にコピーされたファイルのみ維持するよう設定しています。

The screenshot shows the '設定' (Settings) page for a file copy plan. The plan name is 'ファイルコピー'. On the left, there are task lists: 'タスク1: バックアップ: エージェントベース Windows' (checked), 'タスク2: ファイル コピー', and 'タスクの追加'. The main configuration area has tabs for 'ソース', 'デスティネーション', and 'スケジュール'. Under 'デスティネーション', the settings are: 'デスティネーションの種類' (Cloud Storage), 'ストレージ サービス' (Amazon S3), and 'クラウドストレージ' (aws-file-copy). There are checkboxes for '圧縮を有効にする' and '暗号化の有効化'. Under 'スケジュール', the '保持' (Retention) section is expanded, showing '保持' (3) for '最新のファイル コピー' and '次の期間にコピーされたファイルを保持: 過去 7 日' (checked).

- ⑩ [スケジュール] をクリックしファイルコピーの実行スケジュールを指定します。本資料ではデフォルトの [復旧ポイントが生成されたらすぐにコピー] で設定を保存します。この設定例ではタスク1の [バックアップ エージェントベース Windows] 完了後すぐにタスク2のファイルコピーが実行されます。

The screenshot shows the 'スケジュール' (Schedule) tab selected in the configuration interface. The 'ファイルのコピーする' (Copy files) section has two radio button options: '復旧ポイントが生成されたらすぐにコピー' (checked) and 'スケジュール通りにコピー'.

- ⑪ ファイルコピーに必要な設定（ソースフォルダ、クラウドへの接続、バケットへのアクセス可否など）を事前に確認します。事前の設定確認を行うには [はい] をクリックします。



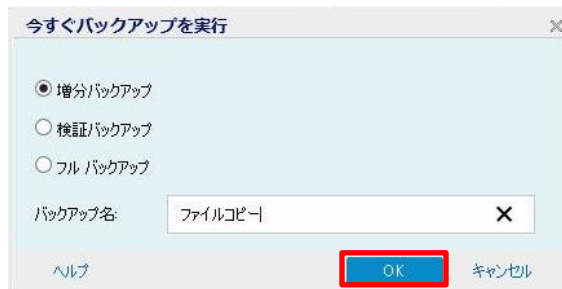
- ⑫ 作成したプランの [展開:成功] を確認します。



- ⑬ この設定例では毎晩22:00にバックアップとファイルコピーが実行されます。手動でプランを開始するにはプラン名の右クリックメニューから [今すぐバックアップ] を選択します。



- ⑭ 実行したいバックアップ種類の選択を確認し [OK] をクリックします。



- ⑮ バックアップやファイルコピーの実行結果は画面右側の [ステータス] や [最近のジョブ] で確認します。実行結果の詳細を確認するには [ログ] をクリックします。

ステータス	ノード名	プラン
✓	udpv6-agent	ファイルコピー

バックアップ (増分)	期間
2016/05/21 5:05:33	00:00:35
ファイルコピー	期間
2016/05/21 5:06:17	00:00:51

イベント	日時
ファイルコピー	2016/05/21 5:06:17
バックアップ - 増分	2016/05/21 5:05:33

6. UDP コンソールを利用したクラウドストレージへのファイル アーカイブ

本資料では例として [バックアップ エージェントベース Windows] タスクを持つプランに [ファイル アーカイブ] タスクを追加する手順を説明します。バックアップ タスクの作成例については、「5.1 新規プランの作成と [バックアップ タスク] の追加」を参照してください。ファイルアーカイブ機能では抽出条件に合致したファイルをクラウドストレージにコピーし、その後ソースファイルを「スタブファイル」に置き換えることでストレージ領域を解放します。

参考：スタブファイルとは？

アーカイブ先が記録されたテキストファイルで、アーカイブされたソース ファイルはスタブファイルに置き換えられます。

これは、Arcserve UDP によって作成されたスタブ ファイルです (ファイル アーカイブ)。

 このファイルのリストアについて IT 担当者にお問い合わせください。

 ファイル [c:¥Data¥FileCopy-test1.txt] は 2016年5月21日 20:03:22 上の以下のファイル アーカイブ デスティネーションに移動されました。
 クラウド デスティネーション URL: s3.amazonaws.com
 クラウド コンテナ: arcserve-udpv6-2dagent-2darchive2cloud1

- ① この例では [タスク名] として「ファイル アーカイブ」として作成したプランに [タスク1:バックアップ エージェントベース Windows] が追加されています。[タスクの追加] をクリックしファイルアーカイブ用のタスクを追加します。



- ② [タスクの種類]として「ファイル アーカイブ」を選択します。



- ③ アーカイブの抽出対象となるフォルダを指定するため [ソースパスの追加] をクリックします。

The screenshot shows the 'File Archival' task configuration page. The 'Source' tab is selected, and the 'Add Source Path' button is highlighted with a red box. The page includes a sidebar with navigation options like 'Dashboard', 'Resources', 'Jobs', 'Reports', 'Logs', 'Settings', and 'High Availability'. The main content area shows the task name 'File Archival', a dropdown for 'Task Type', and a list of source paths. A red box highlights the 'Add Source Path' button.

- ④ [ソースフォルダ] に抽出対象フォルダを指定します。この例ではアーカイブの抽出対象フォルダとして「C:¥Data」を指定しています。さらに抽出条件を指定するため [フィルタの追加] をクリックします。

The screenshot shows the 'Add File Source' dialog box. The 'Source Folder' field is set to 'c:\Data' and is highlighted with a red box. The 'Add Filter' button is also highlighted with a red box. The dialog box includes a warning message about filters and a section for 'File Size Filter'.

- ⑤ 追加されたフィルタ設定の [ファイルの種類]、[抽出条件]、[拡張子] をそれぞれ指定します。この例ではデフォルトの抽出条件を指定しているため、[ソース フォルダ] 内の全てのファイルがアーカイブ対象となります。

ファイルソースを追加

各ファイル アーカイブ設定には、ソース フォルダおよびオプションのファイル/フォルダ フィルタがあります。ファイル/フォルダ フィルタはコピーされる情報を決定します。少なくとも 1 つのフィルタを満たす場合、ファイルがデスティネーションにコピーされます。

ソース フォルダ

注: すべてのシステム ファイル/フォルダはスキップされます。

フィルタの追加

<input type="checkbox"/>	ファイルの種類	次と等しい	すべて (*.*)
--------------------------	---------	-------	-----------

注: [次と等しくない]/[次を含まない] パターンは、[次と等しい]/[次を含む] よりも優先されます。

ファイル サイズ フィルタ
ファイル サイズ フィルタを使用すると、ファイルのサイズに基づいてコピーするソース データを指定および制限できます。

ファイル サイズによるフィルタ

MB

ヘルプ

- ⑥ ファイルサイズやファイル属性でフィルタ（抽出条件）設定を追加するには、下方に画面をスクロールして [ファイルサイズ フィルタ]、[ファイル経過期間フィルタ]を設定します。この例ではデフォルトの未設定のまま設定します。設定完了後 [OK] をクリックします。

注: [次と等しくない]/[次を含まない] パターンは、[次と等しい]/[次を含む] よりも優先されます。

ファイル サイズ フィルタ
ファイル サイズ フィルタを使用すると、ファイルのサイズに基づいてコピーするソース データを指定および制限できます。

ファイル サイズによるフィルタ

MB

ファイル経過期間フィルタ
ファイル経過期間フィルタを使用すると、ファイルの経過期間に基づいてコピーされるソース データを指定および制限できます。

次の期間にアクセスされていないファイル: か月

次の期間に変更されていないファイル: か月

次の期間に作成されていないファイル: か月

ヘルプ

- ⑦ [デスティネーション] をクリックし、[デスティネーションの種類] と [ストレージ サービス] を指定します。この例では [デスティネーションの種類] として [クラウド ストレージ] を選択し、[ストレージ サービス] として [Amazon S3] を選択しています。次に [クラウド ストレージ] への接続アカウントを入力するため [追加] をクリックします。

The screenshot shows the 'Destination' configuration page in the Arcserve console. The 'Destination Type' is set to 'Cloud Storage' and the 'Storage Service' is set to 'Amazon S3'. The 'Add' button is highlighted in red. The 'Compression' and 'Encryption' options are unchecked, and the 'Retention Period' is set to 0 years, 0 months, and 7 days.

- ⑧ [ストレージ名] を入力し (この例では“aws-file-archive”)、接続に必要な情報 ([バケットの地域]、[アクセス キー ID]、[シークレット アクセス キー]) を入力します。[バケット名] 欄に作成済の“バケット名”が読みとられ、入力した [バケット名] が存在しない場合は、その名称でバケットを新規作成します。設定完了後 [OK] をクリックします。

The screenshot shows the 'Add Cloud Account' dialog box. The 'Storage Name' is 'aws-file-archive', 'Storage Service' is 'Amazon S3', 'Bucket Region' is 'AP_Tokyo', 'Access Key ID' is 'ARCSERVEUDP6', and 'Secret Access Key' is masked. The 'Bucket Name' is 'archive2cloud1'. The 'OK' button is highlighted in red. The 'Amazon S3 Storage' section has the 'Low Redundancy Storage' option unchecked.

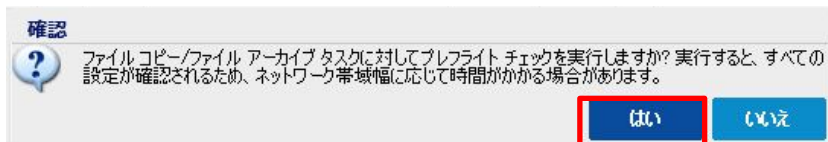
- ⑨ 作成したクラウド ストレージ設定（この例では“aws-file-archive”）が追加されたことを確認し、アーカイブファイルの[保存期間]を確認します。デフォルトの保存期間ではアーカイブ ファイルはクラウドストレージ上に4年間保持されます。

The screenshot shows the 'Destination' tab of the configuration page. The 'Destination Type' is set to 'Cloud Storage', and the 'Storage Service' is 'Amazon S3'. A red box highlights the 'Cloud Storage' dropdown menu, which is currently set to 'aws-file-archive'. Below this, there are checkboxes for 'Enable Compression' and 'Enable Encryption', both of which are unchecked. At the bottom, the 'Retention Period' is set to 4 years, 0 months, and 0 days. A 'Save' button is visible in the top right corner.

- ⑩ [スケジュール] をクリックし、アーカイブを実行する [スケジュールの種類]、[開始時刻]、[曜日] を指定します。アーカイブはタスク1のバックアップタスクと非同期で指定した時刻に実行されます。設定確認後 [保存] をクリックします。

The screenshot shows the 'Schedule' tab of the configuration page. The 'Save' button in the top right corner is highlighted with a red box. The 'Schedule Type' is set to 'Daily'. The 'Start Time' is set to 20:00. Below this, there are checkboxes for the days of the week: 日曜日 (Sunday), 月曜日 (Monday), 火曜日 (Tuesday), 水曜日 (Wednesday), 木曜日 (Thursday), 金曜日 (Friday), and 土曜日 (Saturday). All of these checkboxes are checked.

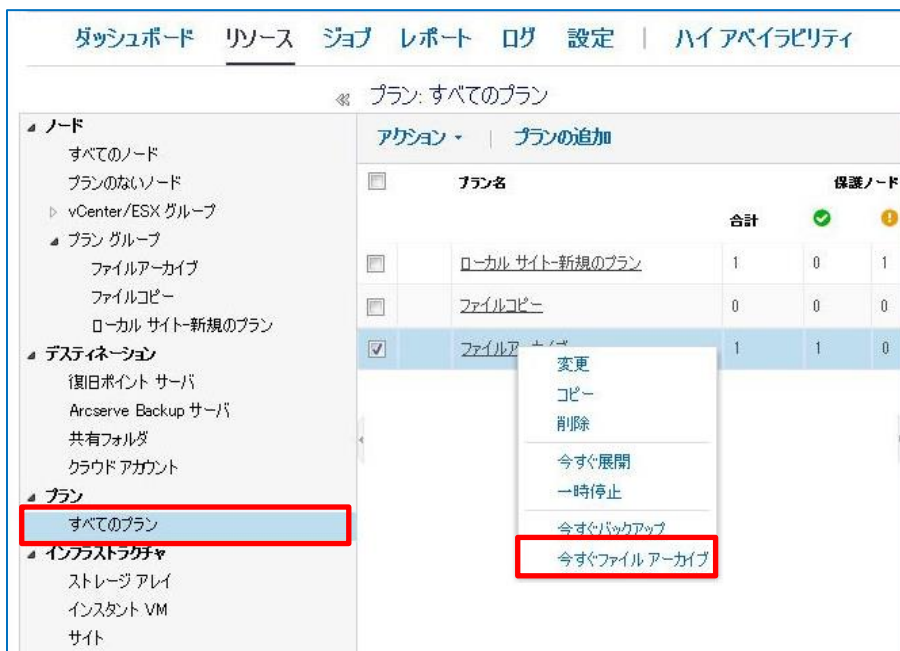
- ⑪ ファイルアーカイブに必要な設定（ソースフォルダ、クラウドへの接続、バケットへのアクセス可否など）を事前に確認します。事前の設定確認を行うには [はい] をクリックします。



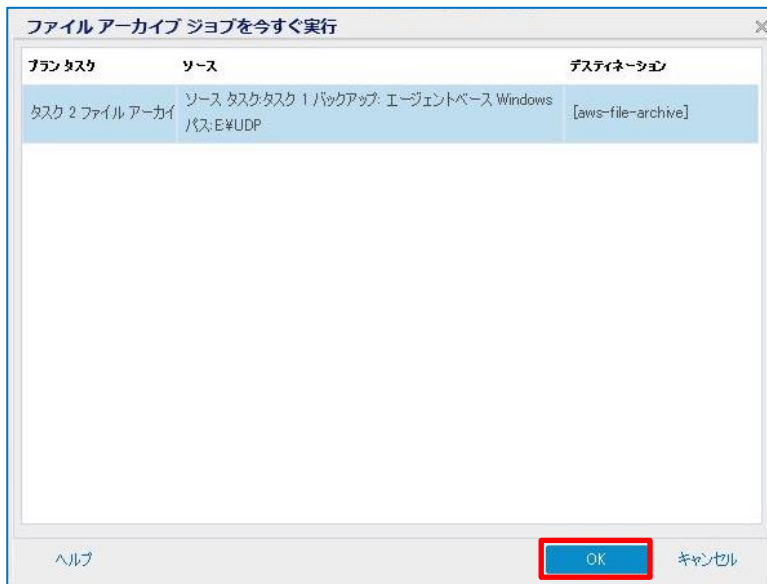
- ⑫ 作成したプランの [展開:成功] を確認します。



- ⑬ この設定例では毎日20:00にアーカイブが実行されます。バックアップ取得済の場合は手動でアーカイブを実行することもできます。手動でアーカイブを実行するには [プラン] - [すべてのプラン] を選択し、ファイル アーカイブ タスクを含むプランの右クリックメニューから [今すぐファイル アーカイブ] を選択します。



- ⑭ アーカイブ タスクの内容を確認し [OK] をクリックします。



7. UDP コンソールを利用したクラウドストレージからのリストア

- ① ファイルコピーまたはアーカイブされたファイルをコンソールからリストアします。コンソールからリストアする場合でも保護対象ノードにインストールされたエージェントに接続しリストアします。下図のように [プラン名] - [ノード名] と選択し、右クリックメニューで [リストア] を 選択後は「4. Windows Agentを利用したクラウド ストレージからのリストア」手順に従ってリストアします。



8. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

8.1. 製品情報および FAQ はこちら

Arcserve シリーズ ポータルサイト

<http://www.Arcserve.com/jp/>

動作要件

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/204760116>

注意/制限事項

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/207679086>

その他、技術情報など(エラー、情報、パッチダウンロード)

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/categories/200180285>

マニュアル選択メニュー:

<http://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/V6/JPN/Bookshelf.html>

8.2. 無償トレーニング情報

どなた様でも参加いただけますので、この機会にご活用ください。半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。(競業他社の方はお断りしております。)

<http://www.Arcserve.com/jp/lpg/seminar.aspx>